丘の上でヴィンセント・ヴァン・ゴッホは

つげ忠男

つげ忠男氏は昭和16年大島生れ。代表作に「ある彫像」(昭35)、「虫」(昭42)など。つげ義春氏の実弟

参考資料
式場隆三郎著「ゴッホの生涯」

ゴッホの作品にはなぜ自画像が多いのだろうか？

BLUES

一八八一年
28歳の時
訪れたパリで
彼は自分の顔ばかり
画いていた様に
思える……

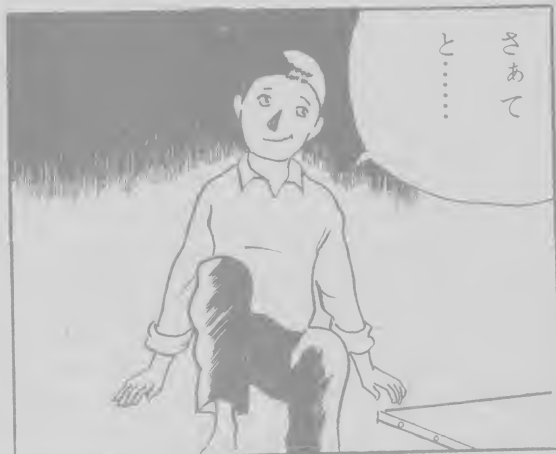
パリ時代の作品
これは「ムーラン・ド・ギャレット」

その他
「セーヌ川」とか
「パリ祭」
「壺の花」等の
作品を残した
のだが……

だが、しかし

やはり
自画像が

一番多いのだ
………

パリで
ゴッホはポール・
ゴーガンに出合う

だが
あわてては
いけない
ゴーガンとの関係
は又後にしよう

さぁて
と……

この頃体が固く
なったようだ
俺………
オッ
オッ

アイテテテ
なんてことだ
こりゃあ……

「炎の人」或いは
「放浪の画家」
とか言われている
のだが………
どうかね？

とかく直情型の性格は人に嫌われるものなのだ……
初恋に破れやりきれぬ感情は当時の美術商や画家の作品に鋭い批判を浴びせる………

この部屋の隅にあるこの絵
ゴッホ29歳の時の作品、「慟哭する男」とある
初期の作品で僕はこれが好きだ

画を売るのが商売の彼が
その商品をこきおろしたのだ
他の店員の反感を受け
追われる様に彼は
パリ支店への転勤を
命じられる

ブラッセルで短期の
牧師養生所に入り
３ケ月後　伝導師として
ベルギーのある炭坑に赴任
そこで　キリスト教の
実践躬行を行なう
つまり　ボロをまとい
パンと水だけで地上に眠った
他の牧師は　これを
体面を汚すものとして
遂に彼を免職させた

ああ
どうやら眠く
なってきたぞ

おーい
おーい
あれ？
変な所へ
五郎さんが
出て来た

エッ
五郎
さん？

びっくり
したですよ
………
一体
何時です
？
12時半
ハハハ
よいの口です
まああきらめて
付合って下さい

これ見て
下さい　ホラ
モツ焼です

僕の好物です
ムハハハこれほど
スタミナのつく
食べものを他に
知りませんね

弱ったな
どうも
………
コップ　コップ
こいつぁ最高だ

汚いけど
妙に落着くな
この部屋は……

ここは　もと〳〵物置だったんですがどこかの学生が強引に借りてしまって、そのまま貸家になったそうです

このモツ焼
だって一本
10円だったのが
今じゃ15円だ
頭痛いよ
まったく

オッ!
こう
なったら
闘う他は
ありません
そうでしょう!

正直言って
僕等
学生は
真剣ですよ
まあ
判りますよ
弱ったな
どうも……
話が変に
なって来た

判りますって
ひとごとみたいに
たとえばさっきの
家賃の件だって
あなた一人の
問題じゃない
弱い者は団結
しなくてはどうにも
ならんのですよ

今は学生も
労働者も団結
する時です
統一行動ですよ
…………
いいなあ
この言葉!

見て下さい
このハゲ!
誇りに
している
ハゲ!
ムッ
ある

あの時だたしか
奴等 手加減しなかったなぁ固い警棒でビシビシきたっけ

最も俺達もやったけどさぁ
アハハハハ
佐藤首相南ベトナム訪問反対デモの時です……

初めは優勢だったんですがその内に
形勢が変って……逃げようとした後からカツーンとやられました
ああそれでハゲに……

だがこれからだ！ハゲにさわる度に僕には新たな闘志が湧く
ガブ
オッ迫力！

エンタープライズはやって来たし沖縄だけじゃないやがては、日本全土が基地化されるおそれがある

うわさによると今度、日本にベトナム戦負傷兵用の病院が出来るって言うじゃないか大変な事だこりゃあ立川基地からは北爆のジェット機が飛び立つし

物価は上がるし
汚職は絶えん
………
女みたいな髪をした
頭の足りない若僧がウロチョロするし
ぶ

第一
ミリタリールックとかが気にくわん！
パチン

あんたはのんびりすぎる
今は絵なんか書いてる時ではない…
それにどうして自分の画をかかないのです！
もうかんべんして下さいよ
僕は明日仕事なんだ
………

判ります
だがあんたはどうして自分の絵を書かないのです

何んも意味のない真似絵だからこそ　書き続けるのです
僕は僕なりにある種のホーズを示しているつもりですがね

そういう下らない事を言うあんたが僕は好きなんだがなあ

いいんです
僕は別に画家になるつもりはないのですから
………
つまり

すべて
理屈より
行動です
…………
闘う為
にはまず
食べる事です
な……

クチャ
食べて
力をつける
クッチャ

クッチャ
クッチャ
カムカム
エブリボディ

モツは精が
つく
力がつく!

サァー
サァー
いこう
か……
♪
頑張ろう突き
あげるぅ空にぃ
くぅろうがあねえの
男のこおぶしぃがある

………
………
………
石を持て♪
たたきぃ出せ
民族の敵
国ぃをうる
犬
ども
を♪

〽どおんと どんと どんと 波のり越そ ぞー ソレイッ 〽

いけえ いけえ

……… おっかね ………

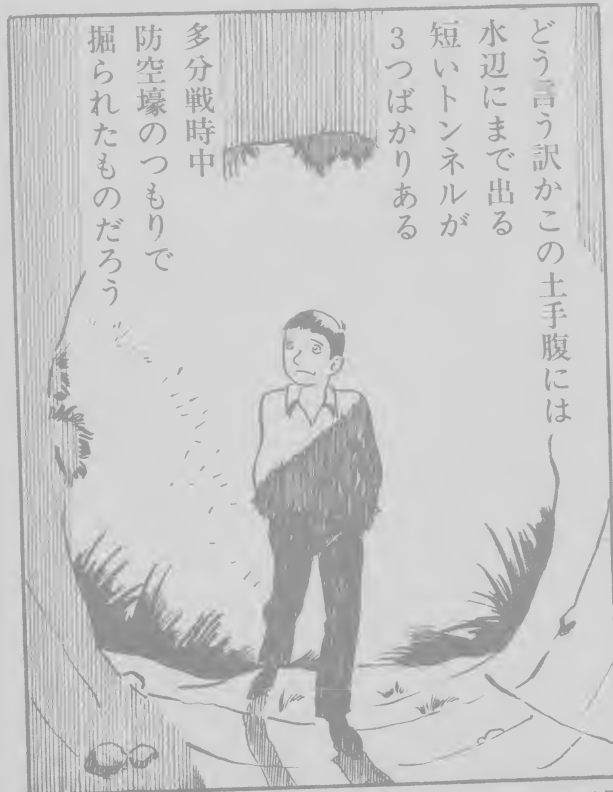
この夜中に…
〽守るもせめるも くうろがねの うーかべるしいろぞ たのみなる

昨夜　床についたのは
三時だった　まだ
眠っている彼を後に
して　いつもの通り
八時に家を出た

会社まで15分はあるく
この充分によゆうを
みての道のりは
楽しい

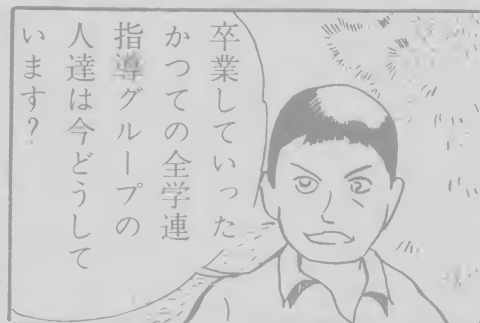
家を出て
すぐに
N川の土手が見え

対岸に僕の勤める
製薬会社がある
普通この土手道を
上がり　橋へ向かう
のだが……

どう言う訳かこの土手腹には
水辺にまで出る
短いトンネルが
3つばかりある
多分戦時中
防空壕のつもりで
掘られたものだろう

僕は初めの穴ぐらを通り抜けて川ふちを歩き次に反対側の穴を抜けて全部の穴をくぐってから土手道へ上がる

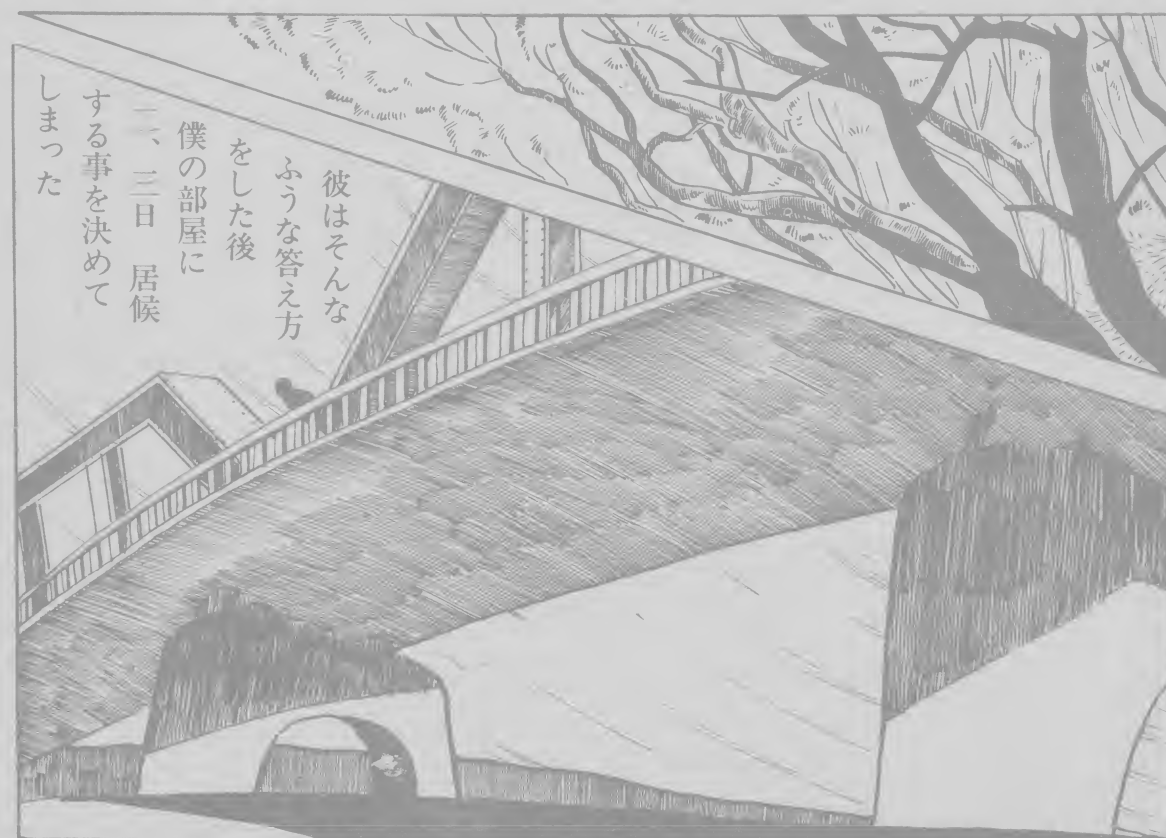
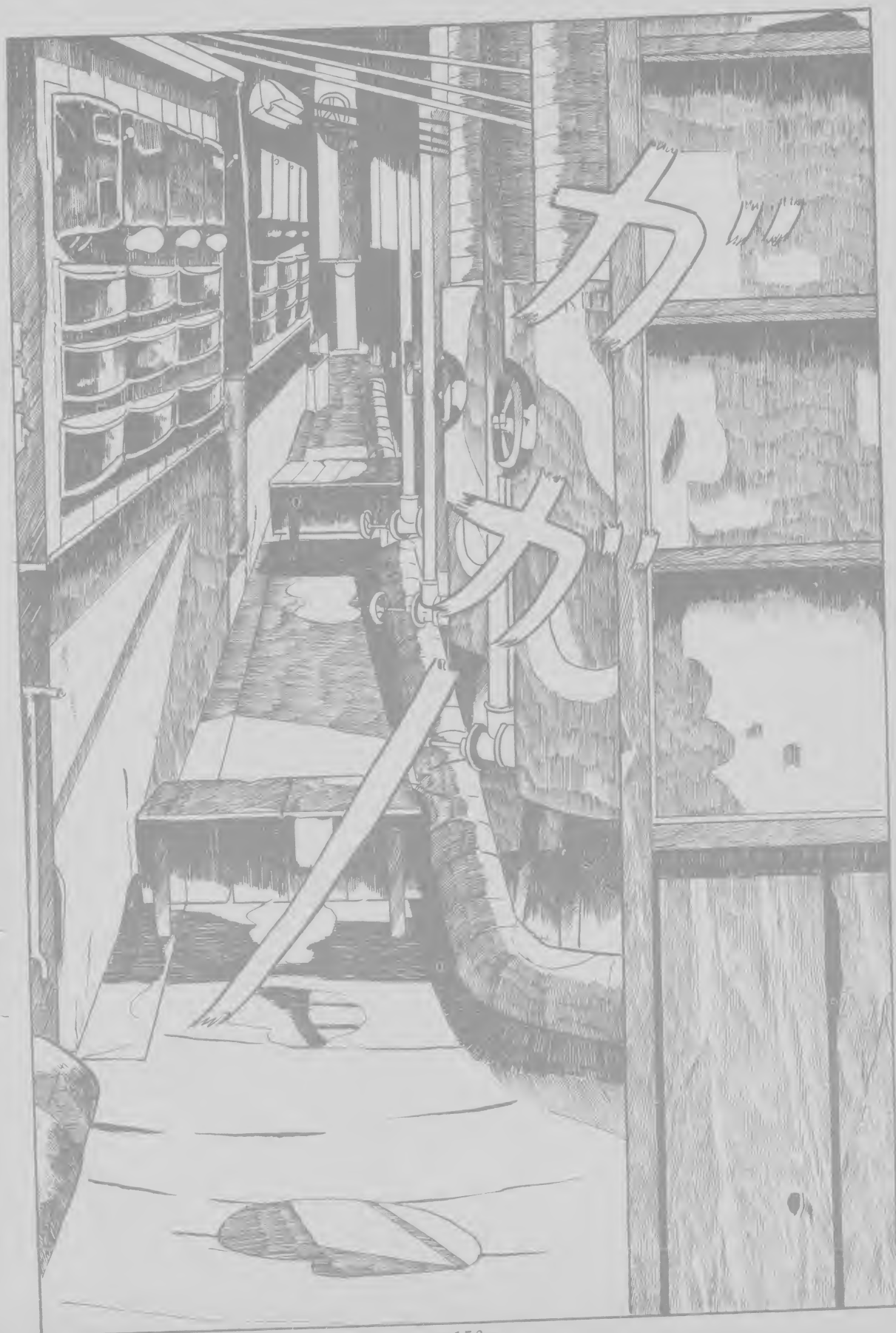
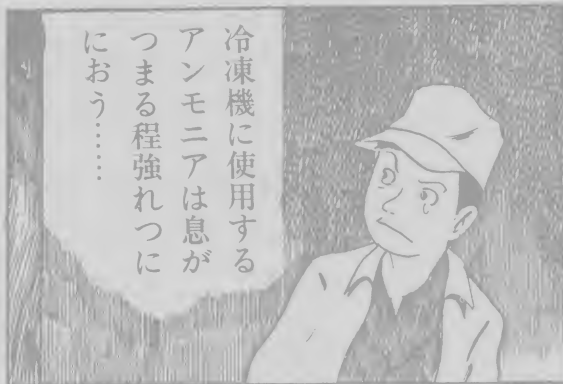
暗いしめった穴倉で僕は巨大なカニであり

臆病な野ネズミの様でもある……

時には殺人でも犯しかねない様な凶暴な衝動にかられる事もあるのだ

卒業していったかつての全学連指導グループの人達は今どうしています?

僕はゆうべ彼に聞いてみた

彼はそんな
ふうな答え方
をした後
僕の部屋に
二、三日　居候
する事を決めて
しまった

カッガン

いつも通るあの土手のトンネル
の様に薄暗く狭い職場で
僕はめっきり独り言が多く
なってしまった

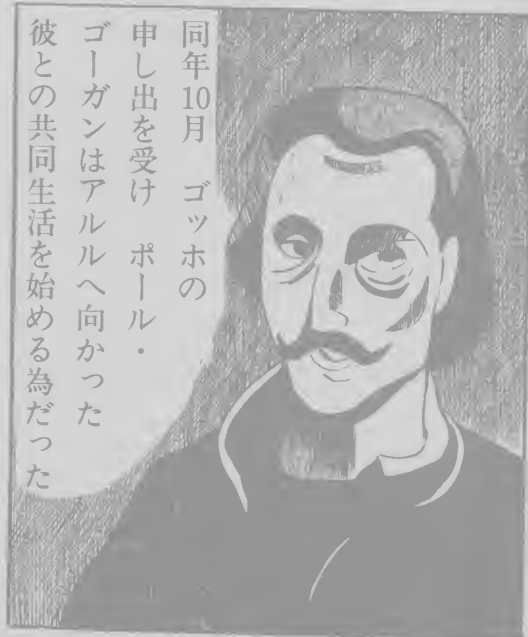
画家を志した時から
続いた貧困はパリで
も同様だった 弟の
テオから受ける仕送
りだけが支えだっ
た

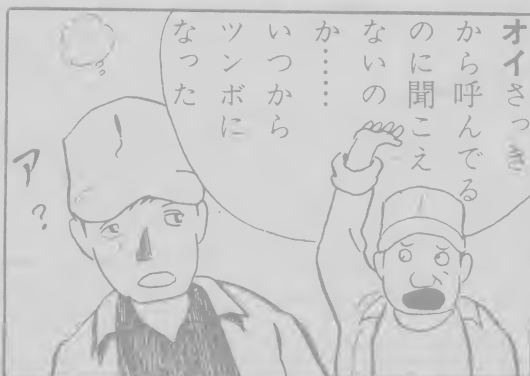
都会の華やかさは
所詮田舎者であった
ゴッホを疲労させたようだ

明るい南仏の風光は彼を狂喜させた
6月には地中海岸のサントマリイへ小旅行
画嚢を豊かにして帰った。
この夏は彼の生涯の内で最も多作の時代
であった

「ヴァン・ゴッホの生涯」より

ここまでだった
ヴィンセント・ヴァン・ゴッホは
ここまでだったと僕は思うのだ

「ゴーガンに与えた自画像」
1888. 10. 35歳

十二月二十二日の夜あるレストランでゴーガンと会食中
ゴッホはいきなりアブサントの盃を投げつけた
この二日後の夕　激しい興奮にかられたゴッホは剃刀で
左の耳を切断　昏睡状態におちいり救済所に入院
三日間意識不明だった……

1889年初「浮世絵の背景のある自画像」

現在、我々は容易ならぬ立場に立たされていると……
今日 定時後組合集会が行なわれた

今の危機は決して我々に責任のあろう筈はない………すべて経営者の
実を言うと僕の勤める会社は現在倒産の瀬戸際にあるのだ

総て経営者の己が利益のみに固執した上に立っての
経営方針が今日の結果をもたらし 我々の当然の権利である賃上げ 及び

一時金の要求を総て拒否ししかも……しかも企業合理化のもとに不当な首切りを宣告して来ると……

今こそ必要なのは尚一層の強固な意志と団結でありヒレツな経営者に対し我々の権利である実力行使を以ってしても断固とした態度を示し云々………
アーーァ
で…な…………な
フム………ヒヒヒ
ザワ
ザワ

………お………おわります

お、おわりだってさ
帰らなくちゃ帰らなくっちゃ
ワク…

ここ数年
組合集会は
いつもこう
いうような
具合に
終る
ヘヘェ

無理も
ないと
思う
な、
な、
まいった
なあ

組合役員で活動した者はほとんどが
役職を与えられたとたんに組合から
遠ざかってしまうのだ

だから
会社の中は
係長や
副係長が
やたらと
多い

会社と
すれば　それで
組合の弱体化を
図っているつもり
なのだろうか

今の委員長だって
係長のポストが
決まっている
そうだ
倒産騒ぎや
そんなこんなで
みんなどうでも
いいような
気分になって
いるのだ

やきと

焼鳥屋へは
初めて入った
今夜は五郎さんと
じっくり付合っても
いいような気分に
なっていた

おやっさん
20本
包んでく
れる
アイ
20本
な…

アイ
20本
な

ありい
焼鳥は随分と
ふんぱつしたつもりだ

新刊

♪頑ん張あろう 突き上げるそおらにい くうろがねえの~♪

ヘッ
へへ

それい!

何者ですか
あなたは
何者だと
言ってるのだ
君！

もしかしたら
あなたは
この学生を
かくまっ
たのか？
心配しな
いでいい
私達は味方だ
真実をのべよ

…………

刑事さん
お待ちど……
あれ帰って
来たの？

へへ
どうしたの
五郎さん

あんたも新聞で知って
いると思う　一ケ月前
にある学生デモを整理に
あたった一人の警官が
鈍器で頭を殴打され
かなりの重傷を
負った

我々はこの事件を
重視し内偵の結果
一応彼を重要参考人と見た
のだが家を転々と変える為
今日まで捕えられなかった
訳さ

どうやら君は
何も知らんらしいな
……ただ整理しただけの
警官をぶん殴るんだから
な近頃の学生ときたら…

何を言うか！
整理の仕方に
問題があるんだ
挑発する
のは何時も
あなた達の方
じゃないか…

挑発とは
何か
いつ挑発し
たか
弾圧だぞ
我々の行動の
総てをただ弾圧
しようとして
いるのだ
あなた方は

二人共
署へ行って
からにしなよ

五郎さん
本当に
五郎さんが
やったのか
？

オイ
行こうか
それから
君にも
後日色々と
聞きたい事が
あるので署に
来て貰うかも
知れない

心配しないで下さい
ハハハハハ
僕は一人じゃない団結した仲間が大勢いるのですよ

さっ行きましょうや

ああ それから部屋にあった本読ませて貰いましたもう少しで終るのですが

帰ってきたら又読ませて下さい

ゴッホ伝

ここに折目がついているな………
一八九〇年
三十七歳
五月十五日 彼は一年の脳病院生活を打切り退院
十七日の朝 数年ぶりに巴里へ着いた……
ここまで読んだのだな

1889年「最後の自画像」

まもなくパリから急行した弟の
手厚い看護を受け　翌二十八日
には煙草を吸いつつ静かに人生
と芸術について語ったがその夜
から次第に意識を失ない